

七小校長室便り

国立市立国立第七小学校
校長室便り No.4 令和元年11月13日

MY詩発表会へのご参加、ありがとうございました！

今まで、クラスごとの取組だったMY詩発表会を、今年は学校全体の取組として学校公開日で実施しました。台風の影響で実施日が平日となり、ご迷惑をおかけいたしました。それでもたくさんの保護者・地域の方のご来校をいただき、感謝しております。

また、アンケートのご協力も、ありがとうございました。以下に簡単ではありますがご報告いたします。

(回収 23 通) ○は良かったところなど▲は改善点など 表現は内容をそのままに、簡潔にしてあります
なお、お出しいただいたものをこちらで分類をしてご紹介します。

【子供たちの様子】

○緊張しながらも発表する子供たちの姿と、聞く側の子供たちの発表者を応援し耳を傾ける姿が素晴らしかった。(同様 6 名。緊張の中で立派に発表していて感心した、など)

○一人一人それぞれの個性が出る発表になっていて、同じ詩でも楽しんで鑑賞できた。(同様 4 名。選ぶ詩に個性を感じた、など)

○クラス全体を見渡しながらか語りかけるように発表している子が多く見られてとても成長を感じた。(同様 4 名。子供たち一人一人が話し手と聞き手の二つの立場を経験することで思いやりの気持ちも自然と育まれている、など)

【教員の指導】

○一人一人にコメントをしてくださる先生の言葉も子供たちの自信へとつながる。日頃のご指導に感謝。(同様 7 名。子どもを褒めてあげることの大切さに気付かされた、先生のコメントにも感動を覚えた、など)

▲(感想発表を)積極的に挙手する子としない子が分かれていたのが、唯一気になった。

【内容】

○自分がとても落ち込んでいるとき、「倒れたら立ち上がればいい」から始まり、励ますような、また力を与えてくれるメッセージを子供たちが一生懸命心を込めて発表してくれて、涙を流して感動してしまっ。勇気を与えてくれた子供たちに感謝。勇気がわいた。

▲低学年の子供たちにとって年齢的精神的に背伸びをしてしまっている印象、意味の読み解きが不十分な印象。上手に読むことに比重が置かれ、作者の意図・心情をさぐる機会を逃しているように思われた。自己啓発的な内容に見えた。MY詩の「MY」が何を指しているのかが気になった。

【運営】

○早い段階で日程変更のお知らせをいただいたので、仕事の調整ができ、ありがたかった。(同様 3 名)

○あらかじめ、だれが何番目に発表するのかをプリントにてお知らせいただいたおかげで、子供たち 3 人の発表をゆっくり見ることができた。

○台風で避難所になり、週末学校も忙しかったと思う。

○学年合同でやってみてもおもしろいかも。

▲時間は 1 時限の中で収まるようにも感じた。

▲平日に日程が変更になり、仕事のため参観できなかった。仕方がないとは思いつつ、残念だった。(同様全 4 名。平日になって時間の変更もあったのでペース配分への配慮をお願いしたい、など)

▲受付係はいらない、と思った。(今回は来場者が少なかつたからかもしれないが)

▲保護者のおしゃべりが気になった。ざわざわした雰囲気の中で子供たちの集中力もそがれていると感じた。そして、先生方に対しても非常に失礼な態度であり、同じ保護者として残念。

裏面に続きます

